

大野慶人

土方巽メモリアル30

花と鳥

舞踏公演

森下隆 記念講演「不世出の舞踏家・土方巽 秋田から世界へ」
土方巽記念秋田舞踏会 ダンスと読み解き「病める舞姫—五章—」

2016年9月10日(土)14時~17時

一般1,500円 学生1,000円 当日受付にて13時半より発売(先着200席)

秋田魁新報社さきがけホール

舞踏とははぐれてしまった自分のからだを再び出会う事である

土方巽メモリアル30 公演

2016.9.10(土) さきがけホール 開演14時 終演17時

一般1,500円 学生1,000円 ※当日13時半より会場受付にて販売(先着200席)

脚本、監督：細江英公 映画「へそと原爆」映像挿入

大野慶人特別舞踏公演「花と鳥」

舞踏：大野慶人 衣踏：大野悦子、金光圭子 音響・映像：國府田典明 照明：溝端俊夫



大野 慶人 (おおの よしと)

1938年東京生まれ。13歳で父・大野一雄からモダンダンスを習う。1959年大野一雄「老人と海」でデビュー、その1ヶ月後、土方巽の「禁色」で少年役を演ずる。「禁色」は舞踏の最初の作品と言われている。以後、土方の「あんま」「バラ色ダンス」等舞踏草創期の作品に参加する。1969年初りタイトル「爪の孤独」のあと舞台活動を中断。1985年「死海」で大野一雄と共演し、土方振付作品によりカムバックした。1986年土方巽の急逝以降、「睡蓮」「花鳥風月」等大野一雄の全公演を演出、2000年代に一雄がひとり舞台に立てなくなってからは、一雄の体を支えて舞踏公演を続けた。1998年、郡司正勝氏の遺稿を基に「ドリアン・グレイの最後の肖像」を上演。近作に「花と鳥」「それはこのようなことだった」等。著作に『大野一雄、魂の糧』他。

魁新報に連載中の筆者が語る、土方巽の人生と、彼が創出した舞踏と世界の潮流

森下隆 記念講演

「不世出の舞踏家・土方巽 秋田から世界へ」



森下 隆 (もりした たかし)

1950年福井県生まれ。大学在学中の1972年から土方巽の舞踏公演の制作に携わる。1986年土方巽死後、土方巽記念資料館を設立し土方巽の資料の収集・保存活動を行う。1998年慶應義塾大学アート・センターに土方巽アーカイヴを設立して土方巽の舞踏資料を移管し、新たにアーカイヴ活動を展開。土方巽展の企画・構成や舞踏の海外公演を制作し、土方巽の舞踏を国内外で紹介する活動を行っている。NPO法人舞踏創造資源代表理事、慶應義塾大学アート・センター所員。慶應義塾大学文学部・大学院非常勤講師。著書に『土方巽・舞踏譜の舞踏一記号の創造、方法の発見』『土方巽一肉体の舞踏誌』など。編著書に『土方巽の舞踏』他多数。

「病める舞姫」の里・秋田に暮らす者たちが、新たな読み解きと踊りの創作に挑む

ダンスと読み解き「病める舞姫—五章—」

原作：土方巽『病める舞姫』 踊り：今野かおる 読み解き：土方巽記念秋田舞踏会
舞台監督：梁田恵一 衣裳：佐藤みつ子 音響照明：曾我傑 企画：米山伸子

土方巽メモリアル30 ワークショップ

大野慶人舞踏入門ワークショップ 講師：大野慶人

2016.9.9(金) にぎわい交流館AU 3階 19時~21時

一般・学生2,000円 ※要事前予約(先着20名)

※ご希望の方は <https://www.facebook.com/hijikata.tatumi.akita> よりお申し込みください



土方巽

NPO法人 土方巽記念秋田舞踏会
秋田県秋田市泉中央1-11-4 (米山)
tel: 018-864-1179
e-mail: hijikata-akita@live.jp

